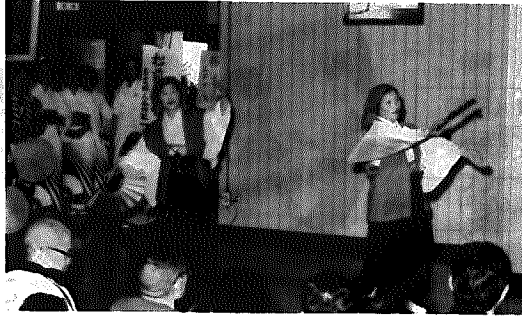


見事な踊りも披露



◀ボランテニアグループのみなさん



▶村民の生活を守るため、必死の除雪作業にもかかわらず、容赦なく吹きつけた北風に、道路には所どころに吹きだまりが……。

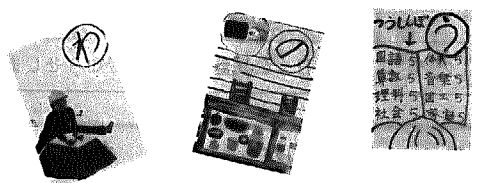
「雪に喰われる」
700万円+α

一足早く「春」

婦人会ボランテニアグループが岩室温泉病院を訪問

「家庭の団らんを離れ、リハビリに懸命の努力を続けているみなさんに少しでも心温まる配慮を」と先月十日、婦人会奉仕部（ボランテニア部員四十八人）が岩室温泉病院行事に参加しました。
奉仕部では毎月、第一水曜日ボランテニア活動の一環として同院を訪れ、入院患者の衣服の洗濯や身の回りの清掃、そして話し相手になるなどとして、大へん喜ばれています。
この日は病院主催の「患者慰問の集い」に参加し、岩室甚句や十三の砂山など四曲を披露し、殺風景になりがちな冬の院内はおかげで一足早く春が来たようでした……。

豊かな心を育てる



◀ジャンボかるたは自分たちの手で……

◀ずべり込みセーファー取り手は二人三脚で……（和小）



ジャンボかるた大会やもちつき大会に子どもたちは大喜び（和小・間小）

先月4日、和納小学校で児童会の「豆まき・かるた大会」が行われ、「ジャンボかるた」などで、大勢の子どもたちが楽しみました。この日は「豆まき」の日とあって元気に豆まきをしたあと、ジャンボかるた大会——各クラス対抗に体育館は歓声でいっぱい……。
一方、15日には間瀬小学校で子ども会、PTAなどによる「もちつき大会」と公民館の「家庭教育学級」が開かれました。もちつき大会では一斗（約15kg）のもちをつき、つきたてのモチは、さっそくきなこもちやぞうににして、昼食を楽しみました。
午後からは「家庭教育学級」のレクダンスなどに親子そろって楽しい一時を過ごしました。

▶ハイ、つき……



▲こちらは雪に負けず、雪を楽しむ——先月十九日、公民館の村民スキー教室が五日町スキー場（南魚沼郡六日町）で開かれました。
会場では、初心者、初級、中級、上級の四コースに分かれ、指導員からマナーや技術の指導を受けました。参加者は中学生から二十七歳までの若者四十人、時折、強く吹きつける雪にも負けず、雪を楽しんでいました。



▲和納の街並みもすつぱり雪に……。早く春の日どしがほしいですね。

冬の風物詩——岩ノリ採り

間瀬の海岸では厳しい寒さの中、岩ノリ採りが最盛期。岩ノリは名前の通り磯の岩場に張り付くように生えている。生のままでは真っ黒だが、みそ汁などに入れると赤みを帯び、シャキッとした歯ごたえとほんのりした磯の香りがたまらない冬の味覚である。
岩ノリは寒さが厳しければ厳しいほど良く、収穫期は一月から二月にかけてと短い。しかも日本海の荒波がつかの間の静まりを見せるなぎの日でないとい採れない。晴れたなぎの日になると近くの主婦らは岩場に出て器用に摘んでいく。岩ノリ採り——間瀬ならではの冬の風物詩だ。



▲岩ノリは寒さが厳しいほど良いという。